



## 東地中海地域ニュース

### レバノン：ナスラッター・ヒズボラ書記長テレビ演説 (6月10日付現地各紙)

9日、ナスラッター・ヒズボラ書記長は国会総選挙の結果を受け入れるとテレビ演説を行った。この演説に関する10日付現地紙の報道は以下の通り。

#### 1. 選挙結果と新内閣組閣

- (1) ヒズボラは内務省公表の選挙結果を受け入れることを表明する。3・14グループが多数議席を獲得し、3・8グループは新しく勝利した選挙区もあれば敗北した選挙区もあり、然るべき議席を維持するに留まった事を確認する。(対抗陣営により)莫大な資金が投入され、国民を脅迫する目的で宗派間対立が扇動されたが、これらは選挙結果の受け入れに影響を与えるものではない。
- (2) 3・8グループは国会の過半数の議席を獲得して改革プランを実現する事はできなかったが、愛国勢力としての義務を放棄する事はない。
- (3) 3・8グループは近く、国会議長の選出や新首相の指名等に関し、立場を決定するために協議を行う。決定にはグループ内での検討、協議、相互理解が必要なので、時間がかかるであろうから自分(ナスラッター書記長)は、現時点で物事を決定しようとは考えていない。

#### 2. 今後の内政の方向性

- (1) 協力に基づいて、強固で有能で偉大な国家を建設する機会は常に存在する。我々は依然国家を救い、独立も守り、主義と自由を守る事が可能である。我々は力を結集すべきである。そこに至る機会は常に存在している。
- (2) 全ての政党及び全ての構成要素、特に選挙に勝利した政党と共に、我々は選挙前に掲げられた公約ではなく、何が現実の政策になるかを見なければならない。この政策は明瞭で透明性があるものでなければならず、対抗陣営は過去の教訓及び過ちから学ぶべきである。

#### 3. 抵抗運動の武器

- (1) ヒズボラが抵抗運動の武器を所有する事により、レバノン国民が望まない選択を強制されるという政治指導者たちの言葉は虚偽である。抵抗運動の武器は何らかの政治的現実を強制するものではなく、イスラエルに対して祖国を防衛するためのものである。
- (2) 抵抗運動が武器を有する事は、国民の選択に基づくものであり、平穏で客観的な国民対話に委ねられている。抵抗運動の武器の問題について心配したり、駆け引きを行う必要はない。

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799